

■江原素六 幕臣として戊辰戦争を戦い、敗れた士族子弟救済に尽力、キリスト者として青年教育に生涯を捧げた。

えばらそろく

天保改革弾圧1842= 江戸角筈の幕府下級武士の家に生まれた。

きわめて貧しく、また頑迷な父のもとで、

阿部正弘首座1845= 3歳：

北斎没・・・1849= 7歳：ようやく習字の稽古に入門。同時に願生院に給仕のアルバイトに出る。

尊徳報徳論・1851= 9歳：

万次郎帰国・1852=10歳：家が四谷に移り、佐藤一斎門下の池谷福太郎の寺子屋に入門、目が開かれる。

ペリー来航・1853=11歳：

福太郎の熱心な勧めと願生院のアルバイトで勉学を続けることができ、

松下村塾・・・1856=14歳：元服。成績優秀で昌平坂学問所に入学。

安政の大獄・1859=17歳：講武所に入所し、

桜田門外変・1860=18歳：

遣欧使節・・・1861=19歳：砲術世話心得になって、さらに勉学を深め、

生麦事件・・・1862=20歳：*ついに砲術教授方に昇進した。

8月18日政変 1863=21歳：佐久間象山の高弟蟻川の塾に入り、そこに寄宿。

また近藤真琴などに師事して洋学を修めた

薩摩藩士密航1865=23歳：幕末の動乱では、歩兵の指図役頭取をはじめに、幕臣として各地に転戦し

明治維新・・・1868=26歳：*撤兵頭並になって、最後の力を尽くした。敗北ののちは旧幕府の転封により沼津に移り、

戊辰戦争終・・・1869=27歳：静岡藩(旧幕府)少参事として、異色の沼津兵学校、同校付属小学校の創設に尽力。

(ともに新たな教育のモデルになり、前者は政府によって東京に移されて、役割を終えた)

廃藩置県・・・1871=29歳：太政官から派遣されて欧米各国を視察。

学問のすすめ1872=30歳：帰国後、川村清雄の義姉縫子と結婚。静岡県で教育や士族授産事業にあたる。

明治6年政変 1873=31歳：学制改革により沼津の付属小学校は公立小学校集成分校になったが、監理者としてその改革に取り組む。

初の民間工場1875=33歳：そこから静岡県最初の中学校が誕生。

一方、旧士族の殖産にも尽くし、

西南戦争・・・1877=35歳：茶の製造販売を主とする結社積信社を設立、社長に就任。

大久保暗殺・1878=36歳：カナダ・メソヂスト教会で受洗、キリスト教の伝道にもつとめる。

琉球処分・・・1879=37歳：駿東郡長になり、前記中学校が県立になると、校長を兼務。

明治14年政変1881=39歳：

国民之友始・1887=45歳：

帝国憲法発布1889=47歳：*上京して当初東洋英和学校幹事になる。

帝国議会始・1890=48歳：同校長。最初の衆議院議員に当選、以後、自由党、政友会の要職を占める。

大本教・・・1892=50歳：同志と職工軍団を組織し、'職工社会の自立自主の精神、職務に忠実の精神、粗製濫造の防止'をうたう。

日清戦争始・1894=52歳：

日清戦争終・1895=53歳：麻布中学校を創設し、以後没するまで同校長。

白馬会・・・1896=54歳：

日露戦争始・1904=62歳：東京基督教青年会理事長。以後没するまで、一筋に青年会のために尽くす。

日露戦争終・1905=63歳：

満鉄発足・・・1906=64歳：同志と日本平和協会を結成。

明治天皇没・1912=70歳：以降貴族院勅選議員。

第一次大戦始1914=72歳：

帝国議会における教育問題議事にしばしば参画するなどして、

原敬首相暗殺1921=79歳：

水平社結成・1922=80歳：没した。

人間性にすぐれ、明治の大実業家の渋沢栄一や益田孝らも敬服していたという。